

歴史古街道団 宮田太郎団長（古街道研究家）の

歴史講演会

“長大なる参道”を持つ神社の謎

～海人・修験・渡来系の社寺からのメッセージ～

講師：古街道研究家 宮田太郎（歴史古街道団団長）

2018年 1月17日(水) 14:00～16:00

☆開場：13:30 ☆講演開始：14:00

○会場：多摩市・関戸公民館(VITA) 8階 大会議室

（京王線・聖蹟桜ヶ丘西口徒歩3分 多摩市関戸4-72 ヴィータ・コミュニネ8階）

○参加費：団員 700 円/名 一般 1,000 円/名

○申込み：事前申し込み不要 当日会場にて受付

○定員：90名（先着順）

*消防法により人数超過の入場が出来ませんので、その場合はご了承ください。

講演内容

鎌倉・鶴岡八幡宮、茅ヶ崎鶴嶺八幡宮、相模原・川尻八幡宮、大宮氷川神社、杉並・大宮八幡宮、府中大國魂神社、調布・深大寺、長野・善光寺、九州宮崎宮、宮地嶽神社、宗像大社——数えたら切りがない各地の長大な参道を持つ神社や寺院の存在について、海人系・修験系・渡来系などの様相の違いや、共通点などを独自の視点で考察。そしてそれらのルーツは対馬の和多津美神社にあるのか、また広島の大島神社、箱根芦ノ湖の箱根権現にも反映させたそのメッセージについて考えていきます。



歴史古街道団
本部：東京都多摩市
宮田太郎（歴史古街道団長） TEL 090-7002-3431
<http://rekodan.a.la9.jp/>

2017-NO. 35